



Collegium Baroque Periodus



Demokritos Epikouros Archimedes Copernicus Galileo Hooke Newton Lavoisier Faraday Darwin

バロック・ピリオドの集い
科学も 絵画も 音楽も

∞ ゆがんだ真珠って ∞

とき: 気持ちのいい日曜日に

ところ: SAKURA Cafe



ゆがんだ真珠って・・・

☆プログラム☆

科学:天体と大地

絵画:光と影の風景

音楽:ピリオド楽器の調べ

☆今後の予定☆

4月:やまのて音楽祭

6月～:バロック音楽の旅fromNAGOYA

8月:チェンバロ・マンドリン演奏会

12月:天体の音楽

Universal ACADÆMIA
of
Art & Science



<http://artandscience.jimdo.com>

お問い合わせ・連絡先

TEL 090-4113-9585 喜多村

E-mail arttosci@yahoo.co.jp

☆集いの特典☆

講座・公演の優先してのお知らせ

講座・公演の年間を通じた割引



☆バロックの意味☆

バロック (baroque および Barock) とは、1500年代から1700年代にかけて、イタリア、とくにローマ、マントヴァ、ヴェネツィア、フィレンツェで誕生し、その後、ヨーロッパ全土へと急速に広まった文化の様式です。バロックの様式は秩序と運動の矛盾を超越するための大胆な試みとして、ルネサンスの芸術運動の後に始まりました。カトリック教会による反・宗教改革運動や、ヨーロッパ諸国の絶対王政を背景に、影響は彫刻、絵画、文学、建築、音楽などあらゆる領域に及び、誇張された動き、装飾の多用、光と影の対比のような劇的な効果や緊張、大仰な演出などにより、ルネサンスの整った様式に比べて「歪んだ真珠」に例えられて批判的な意味で名付けられた、といわれています。

「バロック・ピリオド」とは、そういったバロックの様式を謳歌した「時代」のことです。

☆バロックの基本って☆

ふつう、「基本的」なるものは、もともと先にあったもの、のように思われています。

そういう「基本」が年月を経て、歪んだり汚れたり、味わいが出たりして、さらに「派生」「例外」を経て混沌：カオス のなかに溶け込んでいく・・・ように思われている。

でも、それは逆なのだろうと思います。

なんだかよくわからないもの；カオス として、まずは、誕生する。「それ」が魅力的であったり、気持ちよかったり、役に立ったりすると「それ」は持続する。

そこまでの間、「それ」はまったく「基本」などではなく、社会から蔑まれたり怪しからんものと言われたりするわけです。

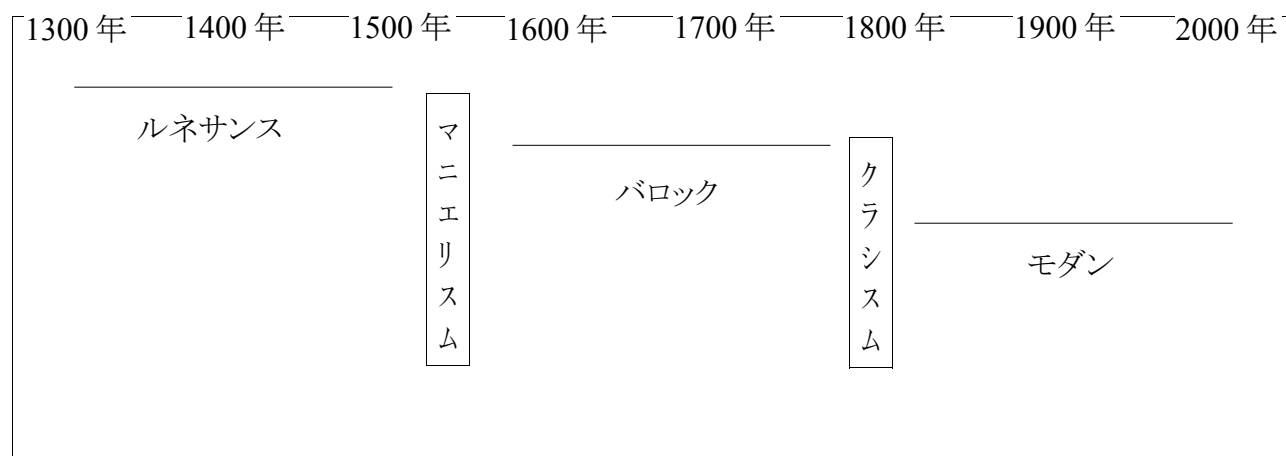
おもしろいもの、効果あるものとして人気や評判を得た「それ」は、やがて、「それ」自体が価値あるものとして、それをつくりあげようとする者に出合います。「基本のそれ」は、ここからはじまるのだらうと思います。

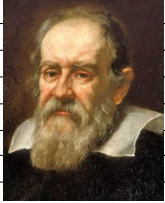



最初は、あやしくも魅力あるものとしてはじまるのでしょう。やがて、そのあやしさが輪郭を持ってきて、「それ」が魅力あるものの「基本」となる。

そして、「それ」は、ただのあやしくも魅力的なもの、ではなくなってくる。すごいものやら、まねしたいたこと：もの・こと の基本になっていく。

科学だって、絵画だって、音楽だって、みんなそうであったはずです。

いつまでも、あやしくも魅力的なものであろうとする、そして、“遊びをせんとや生まれけむ”、バロックの基本は、まさにここにあるのだと思います。



年	歳	ガリレオ	シェイクスピア	モンテヴェルディ	ルーベンス
1564	0	トスカーナ大公領 ピサ	ストラットフォード・アポン・エイヴオン		
1565	1				
1566	2				
1567	3			0歳 北伊 クレモナ	
1568	4				
1569	5				
1570	6				
1571	7				
1572	8				
1573	9				
1574	10				
1575	11				
1576	12				
1577	13				0歳 独西北 ジーゲン
1578	14				
1579	15				
1580	16				
1581	17	ピサ大学入学			
1582	18		アン・ハサウェイと結婚	「三声のモテット集」	
1583	19				
1584	20				
1585	21				
1586	22	『小天秤』			
1587	23			「マドリガーレ集」	アントワープ(フランドル)に戻る
1588	24				
1589	25	ピサ大学教授			
1590	26			マントヴァ宮廷 ウィラ・ダ・ガンパ奏者	
1591	27				オットー・ファン・フェーンに師事
1592	28		『間違いの喜劇』		
1593	29	『機械学(Le Meccaniche)』	『じゃじゃ馬ならし』		
1594	30		『ヴェローナの二紳士』		
1595	31		『ロミオとジュリエット』、『夏の夜の夢』		
1596	32		『ヴェニスの商人』		
1597	33	地動説承認をケプラー宛に	『ウィンザーの陽気な女房たち』		
1598	34		『空騒ぎ』		
1599	35		『ジュリアス・シーザー』、『お気に召すまま』		
1600	36	マリ・ド・メディシス(伊一仏)	『ハムレット』		マントヴァ公宮廷画家
1601	37		『トロイラスとクレシダ』		
1602	38		『終わりよければ全てよし』	マントヴァ公宮廷楽長	
1603	39		エリザベス I 没		
1604	40		『オセロー』		
1605	41		『リア王』		
1606	42		『マクベス』、『アントニーとクレオパトラ』		
1607	43		『コリアレイクス』、『アテネのタイモン』		
1608	44				翌年 西イザベル女王宮廷画家に
1609	45	望遠鏡自作	『シンペリン』		「キリストの昇架」 イザベラと結婚
1610	46	『星界/報告』木星衛星発見	『冬物語』	「聖母マリアのタベの祈り」	「キリスト復活」
1611	47	アカデミア・デイ・リンチェイ 入会	『テンペスト』		
1612	48				「キリストの降架」
1613	49	『太陽黒点論』	『二人のいとこの貴公子』	ヴェネツィア サン・マルコ寺院楽長	
1614	50				
1615	51			「主に向かって新しき歌を歌え」	
1616	52		没 ストラットフォード・アポン・エイヴオン		
1617	53			「行け、風の翼に乗って」	
1618	54			「聖母マリアよ」	「レウキッポスの娘たちの略奪」
1619	55				
1620	56			「逃れよ、わが魂よ」など	
1621	57				
1622	58			「おお、慈悲深きイエス、・・・」	「マリー・ド・メディシスの生涯」
1623	59	『賈金鑑識官』			
1624	60			「めでたし天の女王」	
1625	61			「われは眠る、されど心はさめて」	「聖母被昇天」
1626	62				
1627	63			「われ主に感謝せん」	
1628	64				外交特使で西へバラスケスと会う
1629	65			「シオンの娘よ、喜べ」	
1630	66				「エレヌ・フルマンの肖像」
1631	67				
1632	68	『天文対話』			
1633	69				
1634	70				
1635	71				
1636	72				
1637	73				
1638	74	『新科学対話』			
1639	75				
1640	76				63歳没 アントワープ(聖ヤコブ教会)
1641	77				
1642	78	没 フィレンツェ アルチェトリ			
1643				76歳没 ヴェネチア	